

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

えびなえき あつぎえきしゅうへん ちくじゅうたくしがいちそうごうせいび
海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備

第6回変更

えびなし
海老名市

平成28年5月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成 28 年 5 月 20 日

計画の名称		1 海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備							重点配分対象の該当																									
計画の期間		平成22年度～平成28年度（7年間）			交付対象		海老名市																											
計画の目標		<p>海老名駅周辺は、本市の中心市街地として業務・商業・住宅等の都市機能を集積させ、土地の高度利用を図るべき都市拠点として整備を行う。西口地区では上地区画整理事業を推進し、駅間地区では、安全でゆとりある歩行者空間を確保すべく小田急線海老名駅からJR相模線海老名駅間の民間開発区域内を横断する立体的遊歩道（自由通路）の整備を進めるとともに、文化施設・福祉施設の高機能化を図ることによって、魅力ある複合的住宅市街地整備を実施する。</p> <p>また、あわせて、海老名駅周辺・厚木駅周辺の道路ネットワークの充実化により道路交通の円滑化を図るとともに、交通施設機能を充実させ、通勤・通学等の利便性向上を図り、安全・安心な住環境の整備を進める。</p> <p>厚木駅周辺は、駅西側の都市計画道路の整備促進を図るとともに、駅周辺市街地の生活道路の再編、住宅等の高度利用化や商業施設の更新等により、地域拠点にふさわしい住宅市街地整備を目指す。</p> <p>さらに市営住宅整備事業や良好な住環境を創出する事業を行い、市全体の住環境を整えることにより、安全で安心して暮らせる海老名市の玄関口となる海老名駅・厚木駅周辺の整備がより魅力のある住宅市街地になることに寄与する。</p>																																
計画の成果目標（定量的指標）		<p>海老名駅駅間地区の立体的遊歩道（自由通路）における歩行者交通量を58,000人/日（H22）から93,000人/日（H28）に増加</p> <p>海老名駅・厚木駅周辺地区における住宅戸数を4,819戸から6,319戸に増加</p> <p>公営住宅の新規整備（建替、借上）を57戸実施</p> <p>「市営住宅等長寿命化計画」に基づく既存住宅への工事を2棟実施</p>																																
定量的指標の定義及び算定式		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海老名駅駅間地区の立体的遊歩道（自由通路）の歩行者交通量を測定する。</td> <td>58,000人/日</td> <td></td> <td>93,000人/日</td> </tr> <tr> <td>海老名駅・厚木駅周辺地区の住宅戸数を調査する。</td> <td>4,819戸</td> <td></td> <td>6,319戸</td> </tr> <tr> <td>公営住宅の新規整備（建替、借上）戸数</td> <td>0戸</td> <td></td> <td>57戸</td> </tr> <tr> <td>「市営住宅等長寿命化計画」に基づく既存住宅への工事実施棟数</td> <td>0棟</td> <td></td> <td>2棟</td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値		備考		当初現況値 (H22当初)	最終目標値 (H28末)			海老名駅駅間地区の立体的遊歩道（自由通路）の歩行者交通量を測定する。	58,000人/日		93,000人/日	海老名駅・厚木駅周辺地区の住宅戸数を調査する。	4,819戸		6,319戸	公営住宅の新規整備（建替、借上）戸数	0戸		57戸	「市営住宅等長寿命化計画」に基づく既存住宅への工事実施棟数	0棟		2棟
定量的指標の現況値及び目標値		備考																																
当初現況値 (H22当初)	最終目標値 (H28末)																																	
海老名駅駅間地区の立体的遊歩道（自由通路）の歩行者交通量を測定する。	58,000人/日		93,000人/日																															
海老名駅・厚木駅周辺地区の住宅戸数を調査する。	4,819戸		6,319戸																															
公営住宅の新規整備（建替、借上）戸数	0戸		57戸																															
「市営住宅等長寿命化計画」に基づく既存住宅への工事実施棟数	0棟		2棟																															
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	11,162.6百万円	A (9A.C)	4,144.1百万円 86.5百万円	B	5,017.6百万円	C	1,970.9百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 (A+C)/(A+B+C+D)	18.43%																						
交付対象事業																																		
A1 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																		
									H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																			
1-A-1	住宅	一般	海老名市	直接	海老名市	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業	海老名駅駅間地区立体的遊歩道整備事業 延長L=190m 海老名駅西口周辺道路等整備事業 w=36m、L=400m 海老名駅西口地区立体的遊歩道整備事業 延長L=130m	海老名市								3,343																		
1-A-2	住宅	一般	海老名市	直接・間接	海老名市・組合	厚木駅周辺地区市街地再開発事業	厚木駅周辺地区の再開発に向けた基本計画・推進計画作成 1.3ha	海老名市								11																		
1-A-3	住宅	一般	海老名市	直接	海老名市	海老名市地域住宅計画に基づく事業	公営住宅等整備事業による公営住宅整備長寿命化計画に基づく住宅修繕 公的賃貸住宅家賃低廉化事業	海老名市								704		※1																
											A1小計				4,058																			
※1 地域住宅計画についてはH23～H27年度計画																																		
A.c 提案事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																		
									H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28																			
1-Ac-1	活動支援	一般	海老名市	直接	海老名市	耐震改修促進事業	一般木造住宅耐震化支援事業	海老名市								12																		
1-Ac-2	活動支援	一般	海老名市	直接		生け垣設置事業	緑化推進支援事業	海老名市								0																		
1-Ac-3	活動支援	一般	海老名市	直接		環境対策推進事業	環境保全対策施設設置時の支援事業	海老名市								39																		
1-Ac-4	施設整備	一般	海老名市	直接		公共下水道整備事業	公共下水道汚水樹設置事業	海老名市								25																		
1-Ac-5	住宅	一般	海老名市	直接		住宅資金利子補給事業	住宅取得等支援事業	海老名市								11																		
											A.c小計				87																			
											合計					4,144																		

B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)								会費事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28					
1-B-1	下水	一般	海老名市	直接	海老名市	都中排水路環境整備事業	上部利用に伴う函渠整備L=180m	海老名市										88		
1-B-10	道路	一般	海老名市	直接		(仮称)市道307号線バイパス整備事業	整備延長 L=400m 幅員 W=13.0~16.0m											700		
1-B-2	道路	一般	海老名市	直接		市道61号線道路整備事業	整備延長 L=150m 幅員 W=16.0m											70		
1-B-3	道路	一般	海老名市	直接		厚木第二踏切道構造改良事業	踏切幅幅(歩道設置) L=11.4m W=12.0m											0		
1-B-4	道路	一般	海老名市	直接		市道62号線歩道整備事業	延長 L=830m 幅員 W=2.0~3.0m											444		
1-B-5	道路	一般	海老名市	直接		(仮称)上郷河原口線道路整備事業	延長L=550m 一般部W=16.0m 鉄道横断部W=29.5m											451		
1-B-6	道路	一般	海老名市	直接		市道62号線延伸整備事業	延長 L=204.7m 幅員 W=10.0~12.0m											247		
1-B-7	道路	一般	海老名市	直接		市道12号線歩道整備事業	延長 L=300m 幅員 W=2.5m											30		
1-B-8	道路	一般	海老名市	直接		(仮称)市道53号線バイパス整備事業	延長L=360m 幅員W=16.0m											2,857		
1-B-9	道路	一般	海老名市	直接		上郷第四踏切道構造改良事業	踏切幅幅(歩道設置) L=6.8m W=12.0m											103		
1-B-11	道路	一般	海老名市	直接		市道59号線道路整備事業	延長L=150m 幅員W=16.0m											43		
1-B-12	道路	一般	海老名市	直接		市道1753号線道路整備事業	延長L=200m 幅員W=11.0m											14		
									合計								5,048			
一体的に実施することにより期待される効果																		備考		
1-B-1	海老名駅周辺中心市街地内を縦断する開水路を函渠化し、上部を道路として整備する事で、土地利用を推進し住宅戸数の増加を図り、また、歩車共存道路として整備する事により、安全安心な住宅環境を創造し、地域の利便性の向上を図ります。																			
1-B-10	海老名駅西口土地区画整理事業区域内の幹線道路に接続する(仮称)市道307号線バイパスを整備する事で、新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待されことにより、地域の利便性の向上を図り、海老名駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			
1-B-2	海老名駅西口土地区画整理事業区域内の幹線道路に接続する市道61号線を整備する事で、新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待され、また、地域を分断するJ R相模線を立体化する(仮称)上郷河原口線との接続により、地域の利便性の向上を図り、海老名駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			
1-B-3	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業に合わせ、厚木駅直近の人と車が交錯する危険な踏切に歩道を整備し、歩行者の安全確保と快適で魅力ある市街地の形成を図ります。																			
1-B-4	海老名駅西口土地区画整理事業に合せ、外周道路の歩道整備を実施することにより、歩行者の安全確保と快適で魅力ある市街地の形成を図ります。																			
1-B-5	地域を分断するJ R相模線を立体化し、海老名駅西口土地区画整理事業区域内の主要幹線道路と繋がる市道61号線と接続する事により、新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待されます。また、県道40号横浜厚木と連携する事で、地域の利便性の向上を図り、海老名駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			
1-B-6	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業に合わせ、区画整理縁辺道路の延長として位置し、地域の交通の要となることが見込まれる市道62号線の幅員狭小区間を拡幅し、鳩川を渡河する延伸整備を行うことにより、新たに発生が見込まれる交通需要に対する円滑な交通処理が期待されます。																			
1-B-7	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業に合わせ、厚木駅直近に位置し東西の交通の要となる市道12号線の歩道を整備し、歩行者の安全確保と快適で魅力ある市街地の形成を図ります。																			
1-B-8	都市計画道路河原口中新田線と接続する市道53号線バイパスを整備する事で、住宅市街地総合整備事業により新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待されることにより、地域の利便性の向上を図るとともに、厚木駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			
1-B-9	海老名駅西口周辺の道路グレートアップ整備に合わせ、当該地区へのアクセスルートである市道61号線に位置する上郷第四踏切の構造改良を実施し、住宅市街地総合整備事業により新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待されます。																			
1-B-11	海老名駅西口土地区画整理事業区域内の幹線道路に接続する市道59号線を整備する事で、新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待され、また、地域を分断するJ R相模線を立体化する(仮称)上郷河原口線との接続により、地域の利便性の向上を図り、海老名駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			
1-B-12	海老名駅西口土地区画整理事業区域内の幹線道路に接続する市道1753号線を整備する事で、新たに発生が見込まれる交通需要に対応する円滑な交通処理が期待されることにより、地域の利便性の向上を図るとともに、海老名駅周辺の道路ネットワークの充実を図ります。																			

C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)								全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28					
1-C-1	活動支援	一般	海老名市	直接	海老名市	厚木駅周辺地区の住宅、公益施設、商業施設等整備	基本計画の素案作成、地権者誘導	海老名市									19			
1-C-2	活動支援	一般	海老名市	直接		海老名駅西口上地区画整理区域内の開発コーディネート	権利者誘導方策、事業化の課題と方針整理、区画整理専門家の派遣												0	
1-C-3	活動支援	一般	海老名市	直接		海老名駅西口上地区画整理区域及び周辺などの道路ネットワーク検討調査	基幹道路等の設計委託及び周辺道路ネットワーク検討調査委託												14	
1-C-4	活動支援	一般	海老名市	直接		海老名駅西口周辺道路等整備事業に伴う用地補償費	基幹道路、西口中心広場及びプロムナードの用地補償費相当額の助												678	
1-C-6	施設整備	一般	海老名市	直接		海老名駅周辺地区福祉施設充実事業	高齢者健康増進機能充実事業												213	
1-C-7	施設整備	一般	海老名市	直接		海老名駅周辺地区文化施設充実事業	文化会館の文化機能の充実												1,036	
1-C-8	施設整備	一般	海老名市	直接		海老名駅周辺地区交通混雑解消事業	臨時バス停及び自転車駐車場の充実												1	
1-C-9	活動支援	一般	海老名市	直接		史跡地を活用した市民交流事業の社会実験	えびな薪能・相模国分寺「風鈴市」・相模国分寺史跡祭												9	
									合計								1,971			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考					
1-C-1	地権者の合意形成を図り(A-2)の再開発事業を推進する。																			
1-C-2	都市計画策定・事業計画策定などの支援を行い事業を推進する。																			
1-C-3	基幹道路等の設計委託及び周辺道路ネットワーク検討調査委託を行い、海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業の推進を図る。																			
1-C-4	基幹道路、西口中心広場及びプロムナード(A-1)の用地補償費相当額を助成することにより、海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備事業の推進を図る。																			
1-C-6	海老名駅周辺の市街地整備事業と一体となって、事業を推進し、相乗効果を図る。																			
1-C-7	文化会館のグレードアップを行った上で、地域における文化振興を図る。																			
1-C-8	海老名駅周辺地区の通勤者等の交通環境改善を図る。																			
1-C-9	市民交流の契機となる事業を構築することにより、さらなる魅力あるまちづくりにつなげるとともに、利便性以外での定住性を高める要素となることが期待される。																			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)								全体事業費 (百万円)	備考		
									H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28					
								合計												
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	1,181	421	666	0	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,181	421	666	0	
前年度からの繰越額 (d)	795	585	64	200	
支払済額 (e)	1,346	942	530	200	
翌年度繰越額 (f)	585	64	200	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	45	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

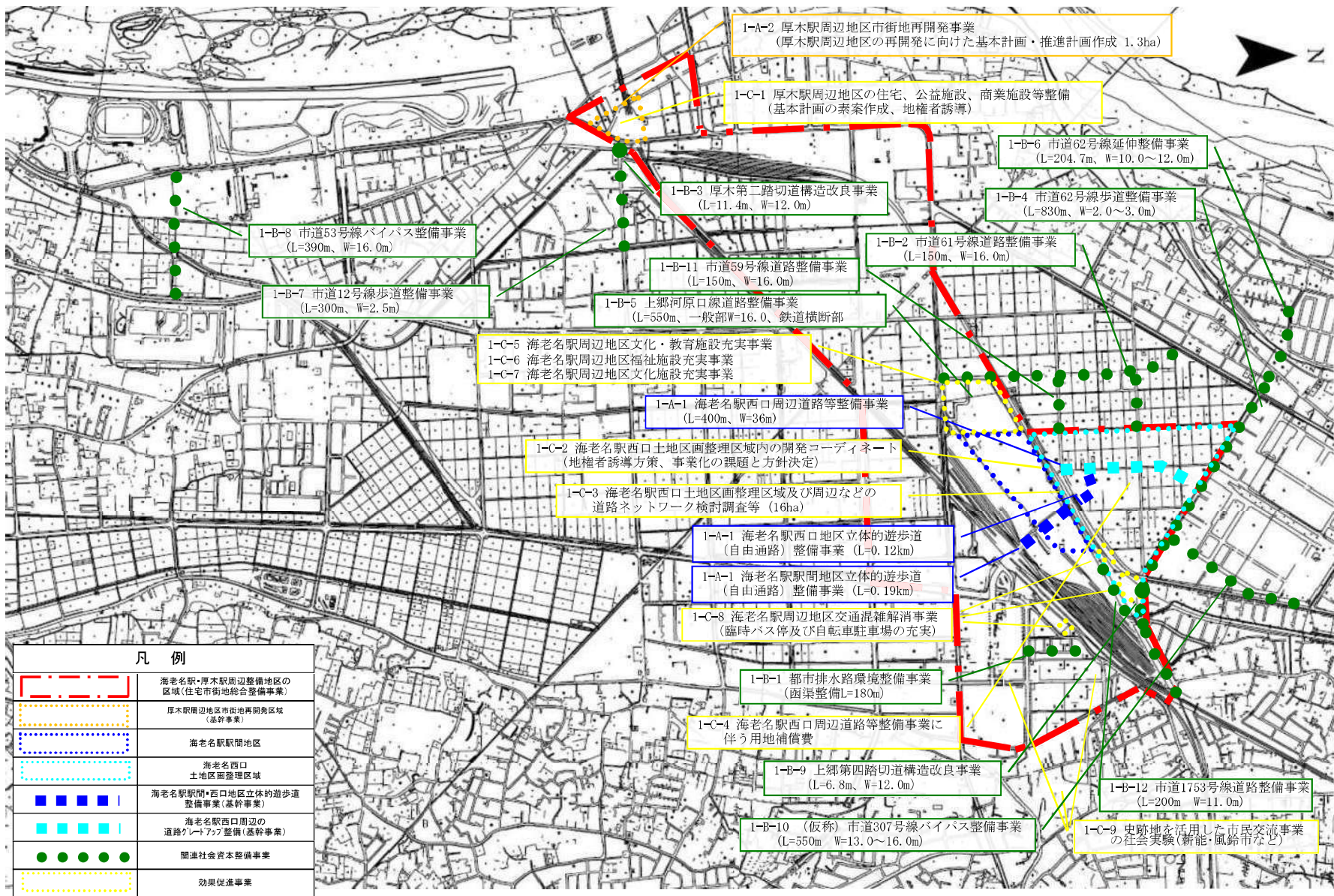
(地域住宅支援)

計画の名称:海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備 地方公共団体名:海老名市

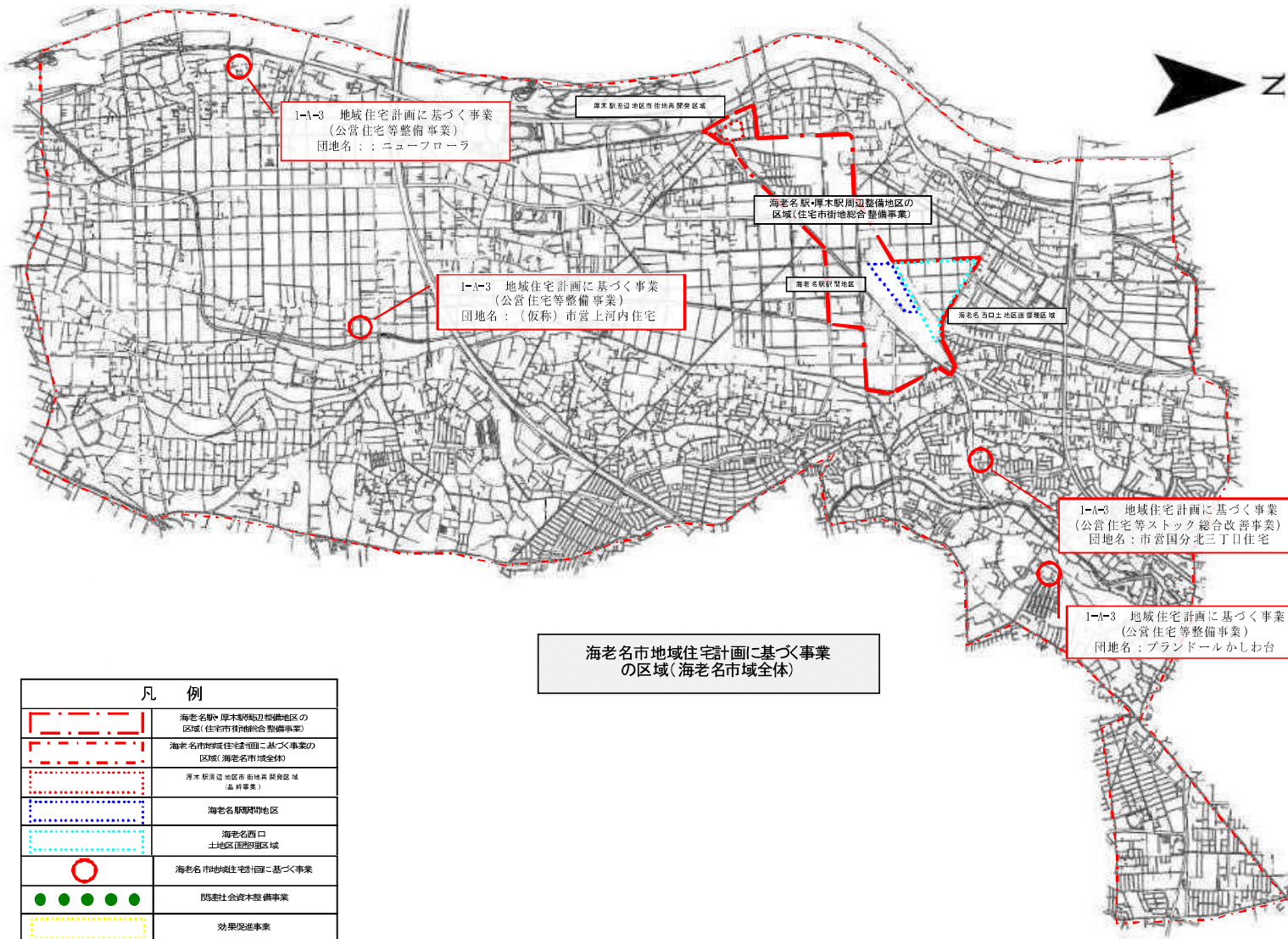
チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関連する計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備 ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○

計画の名称	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成28年度 (7年間)	交付対象	海老名市



計画の名称	海老名駅・厚木駅周辺地区住宅市街地総合整備		
計画の期間	平成22年度～平成27年度（6年間）	交付対象	海老名市



海老名市地域住宅計画に基づく事業の区域(海老名市域全体)

凡 例	
	海老名駅・厚木駅周辺整備地区の区域(住宅市街地総合整備事業)
	海老名市地域住宅計画に基づく事業の区域(海老名市域全体)
	厚木駅周辺地区市街地再開発区域(再開発)
	海老名駅前地区
	海老名西口土地区画整理区域
	海老名市地域住宅計画に基づく事業
	民間社会資本整備事業
	効果促進事業